

令和2年9月23日

市政記者各位

福岡市美術館

特別展「藤田嗣治と彼が愛した布たち」

藤田のフランスでの生活、日本への思いを、彼の針仕事から読み解きます。

藤田嗣治の絵画と藤田が描いた布を合わせて展示する**初の試み**です。フランスのメゾン＝アトリエ・フジタが所蔵する藤田自身が縫製した衣装や小物、藤田が所蔵していた日本の着物なども、**日本初公開**です。広報にご協力くださいますようお願いいたします。



藤田嗣治《タビスリーの裸婦》1923年 京都国立近代美術館蔵
© Fondation Foujita / ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2020 G2303

特別展

藤田嗣治と彼が愛した布たち

会期	令和2年10月17日(土)～12月13日(日)
会場	福岡市美術館 2階特別展示室
開館時間	午前9時30分～午後5時30分 ※10月の金・土曜日は午後8時まで(入館は閉館30分前まで)
休館日	毎週月曜日 ※ただし11/23(月・祝)は開館し、11/24(火)は休館。
観覧料	一般1,300円、高大生800円、中学生以下無料 ※20名様以上の団体は100円引

特別展関連の講演会も開催！

講演会1

「藤田嗣治と彼が愛した布たち」

日時:10月25日(日)午後2時～午後3時30分 講師:岩永悦子(福岡市美術館 運営部長)

講演会2

「フジタよ眠れ—菊畑茂久馬の戦争画論を読む」

日時:11月8日(日)午後2時～午後3時30分 講師:山口洋三(福岡市美術館 学芸係長)

共通

会場	福岡市美術館 1階ミュージアムホール
参加費	無料 ※定員84名、 先着順

※新型コロナウイルス感染症拡大防止に取り組みながら開館しております。

※来館時にはマスクの着用、手指の消毒等にご協力ください。

※展覧会の詳細は次頁チラシをご覧ください。

【問い合わせ先】

経済観光文化局 美術館運営部 学芸課 (担当:山口, 岩永)

問合せ: **092-714-6051**

藤田嗣治と彼が愛した布たち



藤田嗣治《タビスリーの裸婦》1923年 京都国立近代美術館蔵
© Fondation Foujita / ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2020 G2292

Leonard Foujita and the Textiles He Loved 2020.10.17_{SAT} - 12.13_{SUN}

福岡市美術館 〒810-0051 福岡市中央区大濠公園1-6 TEL 092-714-6051 / FAX 092-714-6071
<https://www.fukuoka-art-museum.jp/>

- 休館日：月曜日(ただし、11月23日[月・祝]は開館して、翌24日が休館)
- 時 間：午前9時30分～午後5時30分 ※10月の金・土曜日は午後8時まで開館(入館は閉館の30分前まで)
- 観覧料：一般1,300円(1,200円)、高大生800円(700円) ※前売券はありません。

※()内は20名以上の団体、満65歳以上の割引料金。 ※身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳の提示者とその介護者1名、および特定疾患医療受給者証、特定医療費(指定難病)受給者証、先天性血液凝固因子障害等医療受給者証、小児慢性特定疾病医療受給者証の提示者、および中学生以下は観覧無料。

□主催：福岡市美術館、TVQ九州放送、西日本新聞社 □企画協力：林 洋子(美術史家)

Leonard Foujita and the Textiles He Loved

近年ますます再評価の高まる画家、藤田嗣治(1886-1968)。彼が、生涯工芸品を愛したことはよく知られていますが、なかでも染織品や衣装ほど、絵のモチーフとして重要な役割を果たしてきたものはありません。むしろ、彼が描いた染織品こそが、ハリでの人気を不動にし、節目の時期には、必ず染織品を描くことで新しい道を開こうとしたといえます。本展は、描かれた染織品を通して藤田の画業を検証する初の試みです。

藤田がハリで名声を勝ち得た1920年代の作品から、中南米旅行を経て日本に帰国していた時代の作品を中心に、画中に描かれた布や衣装について解き明かし、彼の画業に新しい光を当てます。特に日本滞在期の作品については、メゾン=アトリエ・フジタ所蔵の、藤田が愛蔵した染織品を作品とともに展示し、作品制作の秘密に迫ります。

一方、画家として世に出る前から、布に並々ならぬ関心を寄せていた藤田は、布を集めるだけでなく、針仕事にも熱心であったことが知られています。本展ではここにも注目し、彼が収集した布や、自ら製作した衣服や小物を展示します。藤田のフランスでの生活、日本への思いを、彼の針仕事から読み解きます。



藤田嗣治《五人の裸婦》1923年 東京国立近代美術館蔵
© Fondation Foujita / ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2020 G2292



藤田嗣治《自画像》1929年 ポーラ美術館蔵
© Fondation Foujita / ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2020 G2292



藤田嗣治《魚河岸》1934年 下関市立美術館蔵
© Fondation Foujita / ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2020 G2292



藤田嗣治《片身替袴織》メゾン=アトリエフジタ、エソンス蔵

講演会

「藤田嗣治と彼が愛した布たち」

□講師：岩永悦子(当館館長) □10月25日(日) 14時～

「フジタよ眠れー菊畑茂久馬の戦争画論を読む」

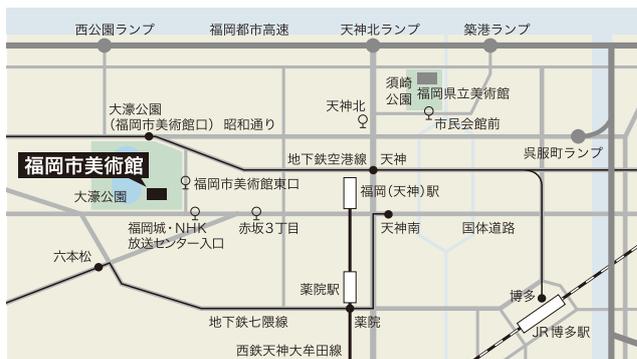
□講師：山口洋三(当館学芸係長) □11月8日(日) 14時～

※会場はいずれもミュージアムホール(定員84人、先着順)

※新型コロナウイルスの感染状況によっては中止する可能性もございます。ご了承ください。

〈福岡市美術館へのアクセス〉

- 地下鉄：《空港線》大濠公園駅(福岡市美術館口)下車、徒歩10分。《七隈線》六本松駅下車、徒歩10分。
- 西鉄バス：[系統番号13・140]で「福岡市美術館東口」下車、徒歩3分。[系統番号6・7・12・113・114・200～206・208]で「赤坂三丁目」下車、徒歩5分。[系統番号6-1]で「福岡城・NHK放送センター入口」下車、徒歩3分。
- 車：福岡都市高速「西公園ランプ」から5分。福岡市美術館専用駐車場(有料：1時間/200円) 利用時間：午前9時～午後9時(開館日のみ) ※週末、祝日等は大変込み合います。公共の交通機関をご利用ください。



福岡市美術館
FUKUOKA ART MUSEUM

〒810-0051 福岡市中央区大濠公園 1-6
TEL 092-714-6051 / FAX 092-714-6071
<https://www.fukuoka-art-museum.jp/>



藤田嗣治《自画像》1936年 公益財団法人平野政吉美術財団蔵
© Fondation Foujita / ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2020 G2292



藤田嗣治《神兵の救出到る》1944年 東京国立近代美術館蔵(無期限貸与作品)
© Fondation Foujita / ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2020 G2292

ご来館の皆様へ

- 福岡市美術館は、新型コロナウイルス感染症拡大防止に取り組みながら開館しております。皆様のご来館を心よりお待ちしております。
- 来館者多数の場合は、一時的に入場者数を制限する場合があります。